

私たちの町の文化財

■第7話 池上日吉神社の鳥居

独鈷山の北西、池の上バス停を降りて井芹川に架かる第一池上橋を渡ると、池上町字北小路に池上日吉神社があります。この周辺は謂れのある石造物・墓碑の宝庫です。なぜならば、現在神社のある位置には、室町時代ごろには「池辺寺」が移転してきていたからです。神社の下段、現在芝生広場になっている所には「池邊寺跡」と刻まれた巨大な石碑が建っています。そんななかでも本日ご紹介するのは、神社への2箇所への入り口にそれぞれある二つの鳥居。井芹川から坂道を上ってきた神社の南側（こちらが現在の正面）に位置する鳥居の額には「池上神社」と刻まれています。一方東側、記念堂の横から階段を登ったところにある鳥居の額には「石崎八幡宮」とあります。なぜ別の名前が・・・？ これは、①まず1647年に池辺寺（現池上日吉神社）の東側約100mの地点に石崎八幡神社が勧進され、②次に1871年、廃仏毀釈によって池辺寺が廃寺になった後、独鈷山にあった日吉神社がこの地に移ってきました。③そして1937年に石崎八幡神社が日吉神社に合祀されたため、ひとつの神社に二つの名前の鳥居が存在するのです。なかなかややこしい話ですが、「池辺寺」→「日吉神社」→「日吉神社・石崎八幡神社」と移り変わってきた歴史の一端が垣間見えます。

熊本市文化振興課 師富国博氏

石崎八幡神社の額がかかる鳥居

ひとつと池上神社の鳥居と石崎八幡宮の鳥居の二つの名前が流れて感じる

